

環境のあゆみ

2020



ダイジェスト(目次)

P1.「ダイジェスト」「環境のあゆみ2020報告にあたり」

P2.「会社概要」「事業所一覧」

P3.「経営理念と環境方針」

P4.「環境マネジメントシステム概要と運用状況」

メロディアン環境マネジメントシステム運用組織図を掲載しています。
組織図にはISO14001認証取得組織と認証取得外組織を色分けして識別しています。

P5.「環境目的・環境目標の達成状況」

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の環境目標への取り組みに対する達成状況と評価結果、並びにそれぞれの解説を掲載しています。

P6.「地域貢献への取り組み事例」

水素水の故郷である山口県より「やまぐちサポーター企業」の第1号として2013年10月に認定されており、その取り組みの紹介をさせていただきます。

P7.「三重工場の省エネルギー継続活動」

三重工場で継続的に取り組んでいる、省エネルギー活動の事例・結果を掲載しています。

P8.「GHG(温室効果ガス)排出量の推移(2017年～2019年)」

過去3年間のGHG排出量の推移グラフを掲載しています。
2017年度と2019年度比較で約5%の排出量削減となりました。

P8.「排水処理の管理状況(三重工場)」

工場の排水処理設備から河川へ放流される処理水の管理状況について、毎月の測定結果を掲載しています。

P9.「“クリーン・やお一斉清掃キャンペーン”に参加しました」

本社で取り組んだ「クリーン・やお一斉清掃キャンペーン」に参加した様子を掲載しています。

P10.「高山植物保護活動の支援」

1992年(平成4年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて、環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。2019年度の活動報告を掲載しています。

環境のあゆみ2020作成にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的とし、2002年度(平成14年度)より一般の方々へ公開しております。

また、紙資源保護を目的にWebでの公開を基本とし、冊子による配布を最小限に抑えておりますのでご理解いただきたく存じます。冊子ご希望の場合は当社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

作成単位を極少化するために、社内作成しておりますので、印刷インクや用紙など素材面での対応が十分出来かねている現状ではございますが、重ねてご理解いただきたく存じます。

今回の「環境のあゆみ2020」の報告対象期間は2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の活動内容と結果を基本としております。

活動範囲は主にメロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動です。

昨年発行の「環境のあゆみ2019」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケートをご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

(発行担当:環境対策委員会 事務局)

会社概要

代表者	代表取締役社長 中西 優紀雄
創業	昭和33年12月6日
設立	昭和36年9月20日
資本金	9,850万円
売上高	113.1億円(2020.03)
従業員数	288名(2020.03)
事業内容	コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、及びデザート等の食品製造販売、化粧品販売

沿革 (環境関連を中心に掲載)

昭和33年12月	大阪府八尾市に日興乳業創業
昭和36年9月	日興乳業株式会社を設立
昭和61年11月	三重工場建設 敷地面積1万坪40億円投資
平成元年6月	メロディアン株式会社に社名変更
平成2年4月	国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
平成3年1月	環境対策委員会を発足
平成4年4月	『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
10月	株式会社メロディアンメンテ設立
11月	『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
平成5年3月	高山植物保護キャンペーン『高山植物いろいろプレゼント』を実施 社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定(NOx対策)
平成6年6月	三重工場排水処理設備の増設
平成8年5月	三重工場へ高温焼却炉を設置(ダイオキシン対策)
平成10年3月	社用車のガソリンエンジン車輻への全面切替完了と低公害車導入の決定
12月	三重工場がISO9002の認証を取得
平成12年1月	ISO14001を全社一斉認証取得
平成13年10月	認証取得範囲を企画開発部門まで拡大しISO9001へ更新
11月	三重工場の焼却炉運転の全面停止(平成14年3月撤去)
平成14年1月	三重工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
2月	三重工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
12月	三重工場にてHACCP承認(清涼飲料水ライン、他)
平成17年1月	社用車へハイブリッド車の導入を開始
11月	株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
平成19年3月	三重工場へ中身入ポーション破砕分別設備を導入
10月	研究所開設
平成20年4月	ISO14001認証取得範囲から営業所等を除外し準適用組織とした
平成22年2月	三重工場へLPG仕様のボイラー設備を導入
平成27年2月	製造委託先との業務提携にて名古屋工場にてポーション製品の生産開始
11月	三重工場A重油仕様ボイラーをLNG仕様へ更新
平成28年2月	三重工場がFSSC22000の認証を取得
9月	関東工場竣工
平成29年8月	関東工場がFSSC22000の認証を取得
平成30年12月	関東工場がISO14001の認証を取得

事業所一覧

本社	〒581-0833	大阪府八尾市旭ヶ丘1-33
研究所	〒581-0869	大阪府八尾市桜ヶ丘2-128-1
東日本事業所	〒151-0053	東京都渋谷区代々木4-29-4(西新宿ミノシマビル3F)
中部営業所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅4-2-7(丸森パークビル5F)
中四国営業所	〒700-0907	岡山市北区下石井1-1-3(日本生命岡山第2ビル5F)
九州営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町1-30(サンいずみビル3F)
三重工場	〒518-1151	三重県伊賀市白檜2816-6
関東工場	〒372-0011	群馬県伊勢崎市三和町2742-1

経営理念

—— 社 是 ——

1. 信頼され、愛される人間になろう。
1. 信頼され、愛される商品をつくろう。
1. 信頼され、愛される企業になろう。

—— 基本方針 ——

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにより、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

環境方針

1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

2. 基本方針

- 1) ISO14001 に基づく環境管理システムの構築を行い、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

平成21年4月1日
メロディアン株式会社
株式会社メロディアンメンテ
代表取締役社長 中西 優紀雄

環境マネジメントシステムの概要と運用状況

社長が責任者として経営会議を毎月1回開催しています。

この会議には、各部門の責任者をはじめ各部門の担当取締役も参加し、必要に応じて随時、年度目標の達成状況の確認や、環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議・決定を行っています。

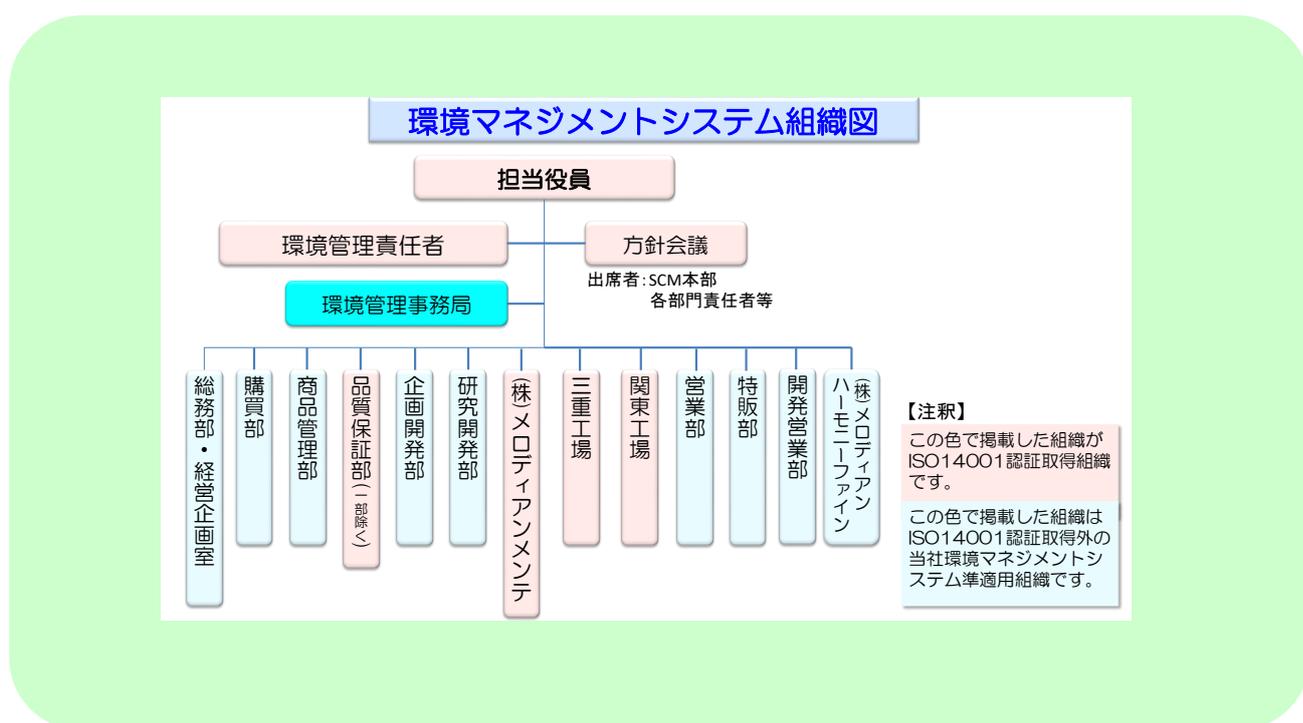
また、認証取得範囲部門が参加する方針会議も毎月1回開催され、環境関連の部門方針進捗の達成状況に合わせ、随時取り組み内容の検討がなされております。



当社は 2000 年(平成 12 年)1 月に環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001(JISQ14001)を全社全事業所一括で認証取得して以来、毎年 1 回以上の内部環境監査と外部の第三者審査機関による審査を実施し、ゆっくりとした歩みではありますが、着実に環境マネジメントシステムの維持向上に努めて参りました。(現在の認証取得範囲は「環境マネジメントシステム組織図」をご参照下さい。)

2019 年度も、社内の資格認定基準を満たした内部環境監査員により全社の認証取得範囲部署を対象として内部監査を実施した結果、計 11 件の指摘と共に「是正要求書」が発行されています。これらの指摘事項は全て該当部署による是正処置が実施され、内部監査員による是正確認まで完了しています。

また、外部審査機関による定期更新審査(2019 年 11 月 5 日-6 日)では、不適合には至らないものの放置すると不適合に至る可能性がある観察事項として計 1 件のご指摘をいただきましたので、現状の環境マネジメントシステムを改善できる機会と捉えて、各関連部署を中心に必要な見直しを実施しております。



環境目的・目標の達成状況

2019年度(2019年4月1日~2020年3月31日)

環境目的・目標に対する達成状況は次の通りです。

環境目的	環境目標	評価	コメント
安心安全に こだわり 品質管理の徹底を 目指す	クレーム件数の低減		外部からのクレーム 件数自体は減らす ことができました。
	不適合件数の低減		クレームに至らず、 製造工程内で発見 された不適合件数 自体は、減らすこと ができました。
CO2排出量 データの把握	環境データの 継続把握		温室効果ガス排出量 換算の元データ及び、 環境データの把握を 継続中です。
環境保全活動推進 と利益に繋がる 無駄を出さない 仕組みづくり	グリーン販促物 購入比率 70%の維持		販売促進ツール設計 する際にも、環境負荷 の抑制を考慮してい ます。
物流品質の向上	配送クレーム 発生率低減		問題なく目標を達成 しております。
エネルギーコスト 上昇に対応すべく 無理・無駄の排除、 効率化を目指す	エネルギー原単位 低減		全体で目標達成には 至りませんでした。

(用語説明) エネルギー原単位とは、製造量当たりのエネルギー消費量のことです。

地域貢献の取り組み

やまぐちサポーター企業

弊社は、水素水の故郷である山口県より「やまぐちサポーター企業」の第1号として錦町農産加工株式会社様とともに2013年10月に認定されており、水素水の水系を守るための森林・自然保護活動として、収益の一部について、緑化事業「緑の募金」に寄付を行っております。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11400/honbu/supporter/201310280001.html>

2020年2月17日、その活動に対して、山口県及び県土緑化推進委員会から感謝状が贈呈されましたので、贈呈式当日の状況について報告いたします。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11400/honbu/201702220001.html>

当日は、村岡知事より長期間の寄付に対する

感謝のお言葉とともに、緑を守るために、これからも

寄付金を

森林保護活動や



“やまりん文庫(山口県産ヒノキ材を使用した本棚と森林環境教育教材図書)”に活用していく、
とのお言葉も頂戴しております。



**水素水のふるさと
山口県 錦町**

天然の蛍、鮎が生息する、豊かな自然。
ここ山口県岩国市錦町が水素水のふるさとです。

水素水はここで作られています

また、当社としても、水素水が疲労・酸化ストレス・運動疲労に対する研究成果や当社水素水の口栓『水素バリアキャップ』について説明し、水素が抜けにくいという他社との違いをご理解頂いております。弊社が携わる水素水は、環境保護・社会貢献活動にもつながっております。

『商品に使っている水を守っていききたい。そのためにも、森林保護・自然を守る活動は非常に大切で、今後も続けていききたい。』という想いを今後も大切にしてゆきたいと存じます。

三重工場の省エネルギー継続活動

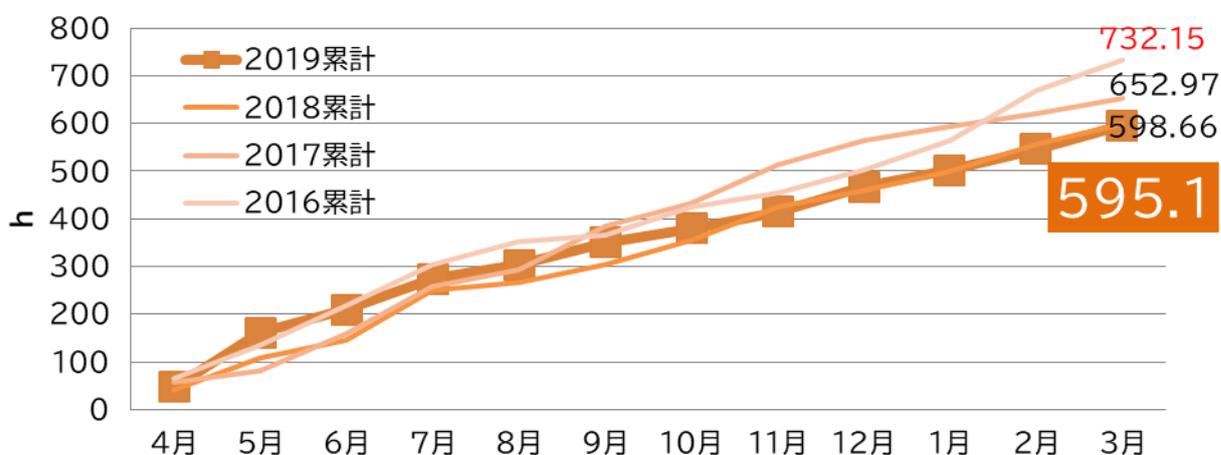
メロディアン工場では、これまで企業活動に直結する様々な省エネルギーに関する取組を実施しています。ここでは、継続的に実施している活動の結果についてご紹介しています。

製造設備トラブル停止時間低減

全社に対して方針項目にも掲げて、工場全体で取り組んでいるこの取組は、長年培ってきた製造現場の知識と経験、そして継続した改善活動による賜物であります。

機械の修繕費用や、作業員の待機時間などは、そのまま製造コストにも直結します。トラブルによるイレギュラーな作業が原因の作業事故防止にもつながり、職場環境の改善にもつながっております。

2016年度からは、約23%低減ができており、今後も継続して、改善できるよう、取り組んで参ります。

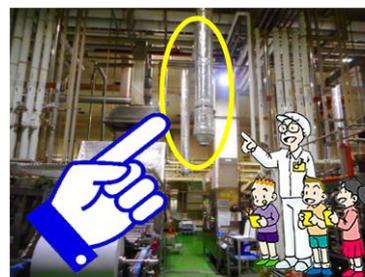


空調機設定温度見直しによるコスト削減

2017年度の取組みとして、充填室の作業環境改善と省エネルギー活動の両立を目的に、床から6mの高さにあった空調の吹き出し口へ、3mのダクトを設置し、冷風の吹き出し口を作業者の近く(床から3m)まで延長することで、作業者の周囲の室温を直接調整しやすくなりました。

この設備改善を実施した後、実際に現場で作業にあたる従業員へヒアリングしつつ、冷房の設定温度を1℃ずつ上げていきながら、作業環境の冷房設定温度の見直しを実施した結果、

4台の空調機の冷房時に設定温度は2台を2℃アップ、2台を4℃アップすることができました。



2017年度からは、約10%低減ができており、同様の案件を水平展開できるよう取り組んで参ります。

オイルフリーコンプレッサーへの更新

2017年度から、圧縮エアにオイルミストが含まれないオイルフリーコンプレッサーへの更新を順次行っており、生産量に左右されますが、コンプレッサー室電力量は2018年対比約3.5%減、102,013kwhの削減が出来ております。

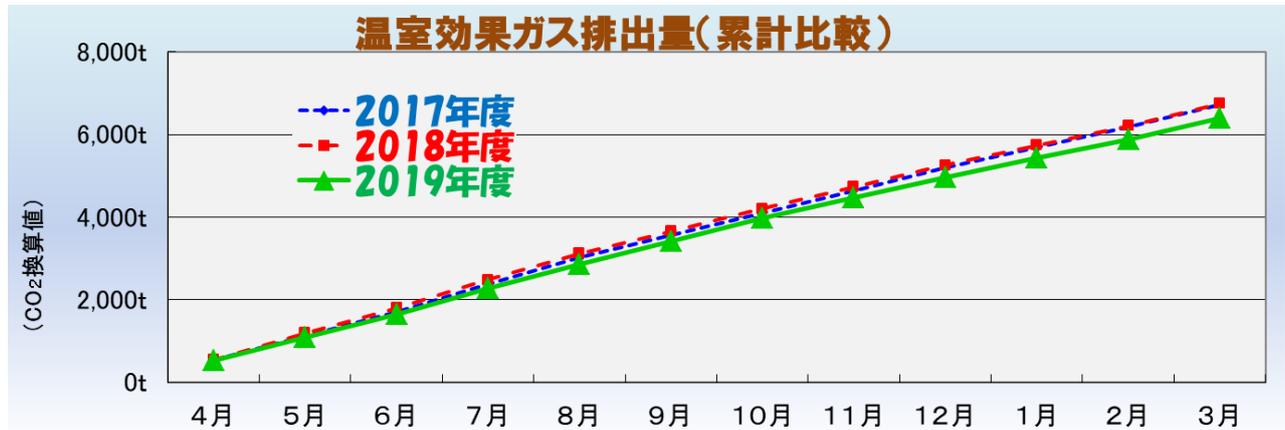


温室効果ガス排出量の推移(2017~2019年)

事業活動に伴う温室効果ガス（GHG）の排出量低減を目標に様々な活動を実施してきました。

工程品質強化を担う新規設備の増加で、2017年度は一度エネルギー使用が増えましたが、2015年度に導入されたLNG（液化天然ガス）式ボイラーによる温室効果ガス抑制効果も発揮され、2017-2019年度比較で約5%弱の排出量削減となり、2年ぶりの目標達成となりました。

次年度は、さらなる削減実績を目指して活動したいと考えます。



排水処理の管理状況(三重工場)

三重工場の生産ラインから排出される排水の管理状況は、昨年の報告以降も下表の通り、関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。

また、関東工場もほぼ同様の管理を実施しており、基準内で問題なく推移しています。

■三重工場の排水処理後の測定値(実績)

単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目(基準値)	測定サンプル採取月と測定結果											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水素イオン濃度 (pH5.8~8.6)	7.90	7.90	7.80	8.10	7.80	7.90	7.90	7.90	8.10	8.30	8.00	7.70
生物化学的酸素要求量 (25 以下)	2.50	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
化学的酸素要求量 (なし)	5.00	4.00	4.60	7.50	4.20	6.40	6.60	9.40	8.50	7.10	7.50	6.90
浮遊物質 (90 以下)	2.00	2.20	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
ルルハ抽出物質 (30 以下)	1.00	2.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00
全窒素 (120 以下)	2.30	22.00	12.90	8.20	6.60	1.70	1.60	2.70	9.20	2.80	1.80	10.40
全リン (16 以下)	0.10	0.26	0.43	0.23	0.25	0.23	0.14	0.06	0.10	0.13	0.10	0.10
大腸菌群数(3000 以下)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉄 (10 以下)	0.50	0.40	0.30	0.80	0.40	0.70	0.80	0.90	1.20	1.20	0.90	0.60
マンガン (10 以下)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (100 以下)	1.80	17.30	13.70	7.50	6.00	1.00	1.00	1.70	8.40	1.50	1.00	9.60
亜鉛 (2 以下)	[年1回測定項目] 0.1 未満 (2020年3月採取)											
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

“グリーン・やお一斉清掃キャンペーン”

本社所在地が大阪府八尾市にある関係で、所属・ご協力させていただいております“八尾をきれいにする運動推進本部企業連絡会”が、9月8日を「グリーン(9)・やお(8)」の日と定め、2014年度から開始した一斉清掃キャンペーンを、2019年度も実施しました。9月8日を含む週(9月8日～9月14日)を『グリーン・やおウィーク』として当社を含む25社で清掃活動を行いました。

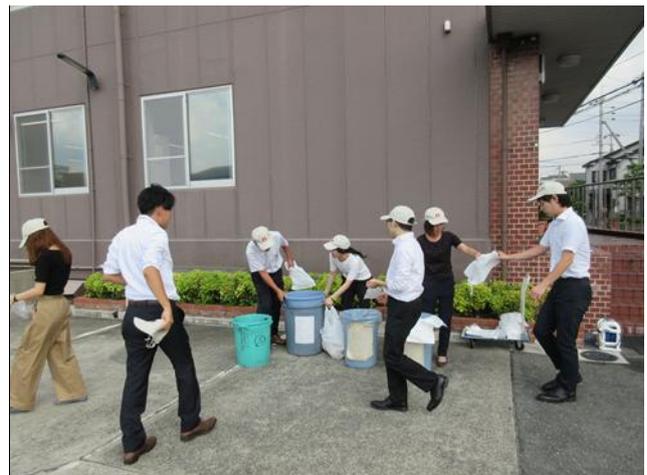
<http://www.city.yao.osaka.jp/0000031309.html>



当社独自でも「グリーンウォーキング」として、定期的に毎月第2水曜日の朝に、事業所周辺の清掃を実施しており、継続して活動して参ります。

■清掃場所

八尾旭ヶ丘1丁目33 (メロディアン本社) 近辺～楠根川付近 (桜ヶ丘3丁目交差点まで)
八尾市桜ヶ丘1丁目2-1 28-1 (メロディアン研究所) 近辺～楠根川・近鉄沿線沿い (付近)



また、10月4日には“八尾をきれいにする運動推進本部企業連絡会”主催の『クリーンキャンペーン』が開催され、美化活動功労者への感謝状贈呈式典など含め、近鉄八尾駅周辺にて、路上喫煙マナー向上の呼びかけを行うとともに、当社を含む32団体、約150名で清掃活動を行いました。

<https://www.city.yao.osaka.jp/0000048464.html>



高山植物保護活動の支援

1992年(平成4年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて、環境保全活動に対する啓蒙活動を続けてきました。

メロディアン本社が関西圏にあることから、JAFPA 関西支部設立のお手伝いも参加させて頂いたご縁もあり、単に法人会員として入会し、経済的な支援に留まるのではなく、入会当初から関西支部の理事として社員を派遣させて頂き、また従業員や取引先様も会員として参加させて頂くなど、共に高山植物を通じて自然環境の大切さと環境保全への啓蒙活動に参加させて頂いています。

2019年度は、関西支部の活動として、夏の観察山行、秋の環境学習会、春の観察会と3回の活動を計画いたしましたが、「淡路島 国営明石海峡公園」を予定した春の観察会は、2020年明けより発生したコロナウイルスの影響で、やむなく中止となりました。

夏の観察山行は毎年恒例となっております、滋賀県・岐阜県にまたがる日本百名山の一つ「伊吹山」での観察山行を計画いたしました。当初 7/27 を予定しておりましたが、台風の影響により延期を余儀なくされ、8/17 に実施となりました。山頂付近の気温は 20℃ほどで、日差しが強く少し汗ばむような気候で、気持ちよく登山ができる環境となりました。例年より花の開花が 1 週間ほど遅く、想定したより多くの高山植物を観察できました。



←ルリトラノオ

コオニユリ→

保護柵内のシモツケソウ↓



秋の環境学習会は 10/26「美浜原子力発電所見学会」が実施されました。

3 時間以上かかるバス道中では、資料や DVD 映像を交えながら、関西電力の方から、原子力発電の成立～仕組みなどの説明を受けました。

昼食後、福井県三方郡美浜町の「美浜原子力 PR センター」で、原発の立地環境や安全対策についての詳しい説明のあと、バスに乗り換え、「美浜発電所構内見学」となりました。発電所敷地内では、各号機・周辺設備の外観や、VR 映像にて普段見られない内部状況の説明を受けました。

見学後、活発な質疑応答もあり、各人の関心の高さを感じつつ、大変有意義な時間を過ごせました。そのあと、廃校になった小学校を利用した「エネルギー環境教育体験館 きいぱす」に立ち寄り、身近な家電を用いての「消費電力見える化」を体験しました。単位時間の消費W数や電力料金の構成など一般生活に役立つ知識を説明頂きました。

日本のエネルギー事情、原発の仕組みから安全管理まで、電気エネルギーに対する知見が広がり、更なる環境意識の向上につながる貴重な体験学習会でした。



image

2020年度は、コロナウイルスの影響を鑑み、活動計画は未定となっております。

JAFPA ホームページ <http://www.jafpa.gr.jp/>

